

平成23年度国立大学図書館協会地区協会助成事業報告書(中国四国地区)

地区名	中国・四国地区（主担当大学：広島大学）
事業名	<p>国立大学図書館協会中国四国地区協会ワークショップ</p> <p>「できる大学図書館広報術－プロに学ぶコンセプトメイキングと実践のコツ－」</p>
事業目的・趣旨	<p>資料の電子化や利用形態等の環境変化に伴い、大学図書館は、能動的な広報戦略を展開する必要に迫られている。今回は、広告と大学図書館の双方の専門家をお招きし、人に情報を伝えることの基本からブランディングのためのコンセプト作りまでを学ぶ。また後半では、実際に頭と手を動かしながら、戦略を実践に移すためのヒントを掴み、自館の広報活動に活かしていくことを目標とする。</p>
実施内容	<p>日時：平成24年2月16日（木）13:00-17:30</p> <p>会場：広島大学図書館ライブラリーホール</p> <p>協賛：中国四国地区大学図書館協議会、広島県大学図書館協議会</p> <p>プログラム：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開会挨拶 富永一登（広島大学図書館長）</li> <li>・講演「広報の最新理論と今後の展望」 講師：北野尚人（（株）中国博報堂執行役員 MD 統括担当兼マーケティング部長）</li> <li>・講演「大学図書館員の自分ブランディング戦略－専門職サバイバルのための非公式マニュアル－」 講師：仁上幸治（帝京大学総合教育センター准教授）</li> <li>・ワークショップ「問題は、なにが問題なのかだ。－ちいさくわけて考えよう－」 ファシリテーター：寺本紫織（広島大学広報グループ特任講師）</li> <li>・閉会挨拶 甲斐重武（広島大学副図書館長）</li> </ul>
事業の成果 （アンケート調査結果、事業への意見・感想等）	<p>中国四国地区協会事業委員会広報・企画グループにおいて、希望調査および企画立案を行い開催した。広告業界の理論を大学図書館に結び付け、さらに実践につなげる当初の目標を果たすことができた。今後は自館での実践を行い、継続的にスキルアップを目的と研修会を開催していくことが必要と考える。</p> <p>ウェブサイト：<a href="http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/janules/120216.html">http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/janules/120216.html</a></p> <p>参加人数：59名</p> <p>参加者名簿：別紙</p> <p>アンケート集計結果：別紙</p>

経費	項目	収入	支出	残額
	国立大学図書館協会地区助成金	150,000		
	講師謝金(北野尚人)		20,020	129,980
	講師謝金(仁上幸治)		20,020	109,960
	講師謝金(寺本紫織)		16,080	93,880
	講師日当・旅費(北野尚人)		3,900	89,980
	講師日当・旅費(仁上幸治)		60,180	29,800
	コーヒーポットサービス(3,000*4)		12,000	17,800
	打合せ用昼食(1,000*9)		9,000	8,800
	3色ペン(1,454*5)		7,270	1,530
	カラーラベル(142*3)		426	1,104
	クリアフォルダ		124	980
	クリアファイル		980	0
	合計	150,000	150,000	0